

OB紹介



広島大学霞地区運営支援部契約グループ
増子陽春さん：平成 20 年度入学生
行動科学プログラム

◆ 現在の仕事内容を教えてください

広島大学霞キャンパスにて、契約グループに所属しています。仕事内容としては、先生方や学生たちが研究するために必要とする物品や機械を企業と契約して購入することが主です。

◆ 仕事のやりがいは何ですか？

自分が学んできた母校である広島大学のことを、これから先どんなに知っていけると思うと、とてもわくわくします。それが、現在の自分のモチベーションに大きく繋がっている点です。

契約グループは、僕にとって初めて所属する

部署なのですが、自分たちが使っていた

PCは誰が買っているのか、といったことは、

やはりこの仕事を通じないと知ることが

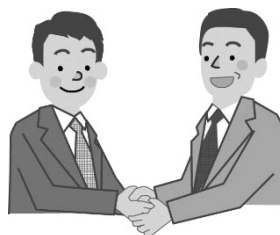
できなかつたと強く思います。

僕の中の大学職員のイメージは、

総合科学部の学生支援の方々でした。基本的には

三年ごとに配属先が変わるのですが、僕の今の部署では、学生と話す機会がないため、次は学生支援グループの仕事に挑戦してみたい

です。



◆ 現在の仕事に就こうと思ったきっかけは何ですか？

僕は京都府出身で、広島大学への入学が決まって初めて広島に来ました。当時は大学職員に勤めたいとは考えておらず、かといって、自分が将来何をしたいのか、具体的に掴めずにいました。そんな中、大学生時代に奥さんと出会ってから、広島に残りたいと強く考えるようになりました。そこから、一般企業だと転職がある分広島から



離れてしまったため、公務員になろうと決めました。

公務員といっても様々な職がありますが、その中でこの仕事を選んだのは、母校である広島大学で働くことで、今後のやりがいにつながるかと考えたからです。どちらかというと、こういった仕事がしたいという思いよりも、広島に残りたいという思いがきっかけとなりました。

◆ 増子さんの就職活動のエピソードをお聞かせください。

公務員志望だったので、公務員試験の内容を必死に勉強していました。就職活動のように、各県を転々とするとは打って変わり、勉強に専念していましたね。

僕らの時は、公務員試験の時期に比べて、企業の就職活動が内定する時期の方が早かったのですが、やはり周りが決まると焦りましたね。

面接への準備として、「自己分析」をしていました。僕は、自己アピールができるような活動に参加していなかったため、それ以外の面で自分が強く言える部分を探し、分析するという作業をしていました。

公務員は、企業ほど個性を

求められないので、自分の考えをしっかりと持って、それをきっちり伝えられるような話し方ができるよう、



事前に整理していました。この作業は、早めに行なうことをおすすめします。時間をかければかけるほど、自分の考えがどんどん濃くなっていきますよ。何でもいいので、自分自身が熱心に取り組んでいたことを、自己アピールとしてうまく起用してみてください。じっくり考える時間を設けると、見えてくるものがあるかと思えます。

◆ どうして総合科学部を選んだのですか？

もともと心理学を学びたいという思いがあったので、行動科学プログラムがある総合科学部に入学しました。行動科学プログラムを選択するために入学したと言えますね。

ドラマや番組に出演している心理学者に憧れから心理学を専攻するということ、ミーハーな部分もありましたが、大学に入学する前に学んだことがない分野に挑みたいという意識が強くなりました。

また、理系寄りであったため、自分の選択肢の中から文系の分野はおのずと消えて行きましたね。入学前からの決意が固かった分、プログラムの選択の際に迷うということはありませんでした。

◆ 総合科学部でよかったと思う点を教えてください。

やはり、文・理系の科目が両方あるという点はこの学部にもない魅力です。先生からも友人からも、様々な視点からの意見が聞ける環境がとてもよかったですと感じています。いろいろな考え方を得

ることは、物事を進める点で非常に役に立ちますし、新しい部分が見えたときの感動はやはり後に残りやすいなと思えたのはこの学部に入ったからだと考えています。

◆ やってあげばよかったと後悔していることはありますか？

正直、これに打ち込んでいました、と具体的に言えるようなことはしていませんので、そこはとも後悔していません。

学生時代を思い返すと、仲の良いメンバーと集まって遊んだり、旅行をしたりした風景が浮かび上がります。もちろん良き思い出なのですが、就職において、自分をアピールできる点を探し出すときに少し苦労したかなと思います。

また、サークルに入っていればなど考えることもあります。僕は少しの間、軟式野球をしていましたが、途中で通わなくなっていました。サークルにあまり入らなかった分、

僕には先輩・後輩といった

人間関係を築く機会がなかったです。

その繋がりがもし今でもあったなら、

意見を聞いたりすることから、

ともに思い出に浸ったりすることまで、

また違った過ごし方ができていたのかなと思います。



◆ 総合科学部の学生へメッセージをお願いします。

時間があるうちにできることをしてください。これは、僕が学生の頃もよく言われていたことなのですが、社会人になって強く思うようになりました。学生として過ごしていると、なかなか気づけない点ですね。

やりたいと思ったことは、どうにかして挑戦してみてください。できないことであっても、挑むことで得るものがあるかと思えます。また、自分から進んで物事を行なうと、継続しやすいですし、目標を掲げると、モチベーションに繋がりがやすいですよ。僕はそれを、社会人になってから感じましたが、学生の時点で行動に移せていたらなど考えることが多々あります。

周りの友達と自分を比較することも大切ですが、そうすることで逆に行動しにくくこともあります。ぜひ、この四年間を有意義に活用し、いろんなことに挑戦してみてください。

【担当】 26生 井上 萌

26生 竹内音寧